

県大会などドロー作成のルール（令和8年度）

以下の原則に従い、顧問代表者会議（またはそれに代わる会議）においてドローを作成する。なお、特殊な事情については、顧問代表者会議で検討する。

1 IH 県予選団体戦

- ①前年度県新人大会の優勝校を第1シード、準優勝校を第2シードとする。
- ②第1・2シード以外で以下の条件を満たす学校から第3・4シードを選ぶ。
 - ・団体登録選手にシングルスポイントを持つ選手が多い学校
 - ・団体登録選手のシングルスポイントの総計が大きい学校
- ③第1～4シード以外の学校から顧問代表者会議で第5・6シードを選ぶ。
- ④残りの学校はフリー抽選でドロー位置を決める。

2 新人大会団体戦

- ①以下の条件を満たす学校から第1～4シードを選ぶ。
 - ・団体登録選手にシングルスポイントを持つ選手が多い学校
 - ・団体登録選手のシングルスポイントの総計が大きい学校
- ②第1～4シード以外の学校から顧問代表者会議で第5・6シードを選ぶ。
- ③残りの学校はフリー抽選でドロー位置を決める。

3 IH 県予選シングルス（ドローサイズ 32）

- ①エントリーのあった選手のうち、高体連シングルスポイントランキング上位8名を地区予選免除とし、ポイントランキング順にシードする。
- ②地区予選勝ち上がり選手のうち、ポイントランキング上位4名を第9～12シードに配置する。
- ③残りの選手はフリー抽選でドロー位置を決めるが、原則として地区予選勝ち上がり選手同士の1回戦は同地区同士の対戦にしない。また、地区予選免除選手との1回戦は同校同士の対戦にしない。

4 IH 県予選および県新人大会ダブルス（ドローサイズ 24/32）

- ①エントリーのあった組のうち、高体連ダブルスポイントランキング上位4組/8組を地区予選免除とし、ポイントランキング順にシードする。
- ②地区予選勝ち上がり組のうち、ポイントランキング上位4組を第5～8/9～12シードに配置する。
- ③残りの組はフリー抽選でドロー位置を決めるが、1回戦は同地区同士の対戦にしない。

5 強化合同練習会[シングルス]ブロック

- ①ドロー会議前日に公式 HP 上に掲載されているポイントランキング上位4名を免除とし、県新人大会シングルスストレートインとする。ブロック数は別に定める。
- ②ブロックごとのシードは2名とし、上位のシードは一番上に、下位のシードは一番下に配置する。
 - ポイント保持者をポイント順にブロックシードへ配置する。
 - ポイント保持者がブロック数の2倍を下回る場合、残りのブロックシードは顧問代表者会議で決める。
- ③残りの選手はドロー抽選ソフトによる自動抽選でドロー位置を決める。

6 県新人大会シングルス（ドローサイズ 32）

- ①強化合同練習会シングルスにおいてストレートインになった4名を、ポイントランキング順にシードする。
- ②①以外の出場者のうち、ポイントランキング上位8名を第5～12シードに配置する。
- ③残りの選手はフリー抽選でドロー位置を決めるが、原則として地区予選勝ち上がり選手同士の1回戦は同地区同士の対戦にしない。また、強化合同練習会シングルスストレートイン選手との1回戦は同校同士の対戦にしない。

令和8年4月1日改定